


PIL 参加メンバによる GMPLS シグナリング技術検証 (PIL)

PIL技術検証WGについて



- 技術検証WGは、メンバ企業で開発を進めているLeading Edgeとなるプロトコルのコードの技術検証を行う場
 - 各社で開発したLeading Edge Codeを持ち寄り、技術検証を実施。
 - 今年度は、Leading Edge Codeの基本機能となるシグナリングの接続検証実験を開始。
 - 今後、リストレーションや全光化に向けた技術検証を進める予定。

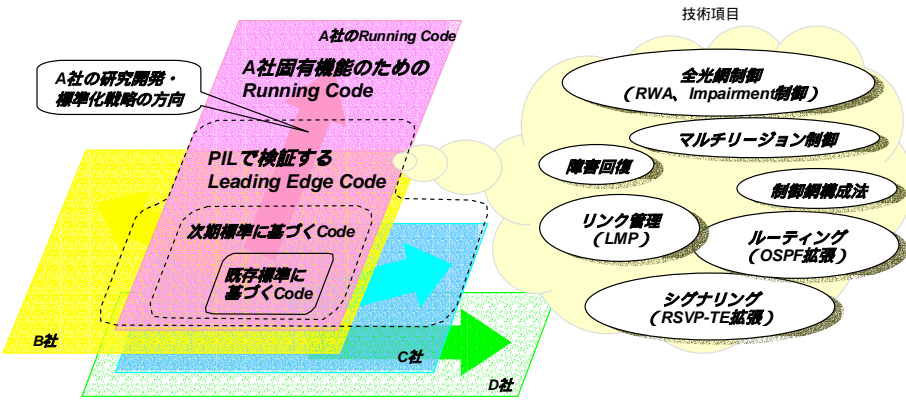
Leading Edge Code=デファクト標準実装コードを上回る機能を有し、次の標準となる実装コード。

PILの体制

- 運営委員会
- 標準化戦略WG
- 技術検証WG

PIL参加メンバ


沖電気	日本電気
富士通	古河電工
三菱電機	NTT



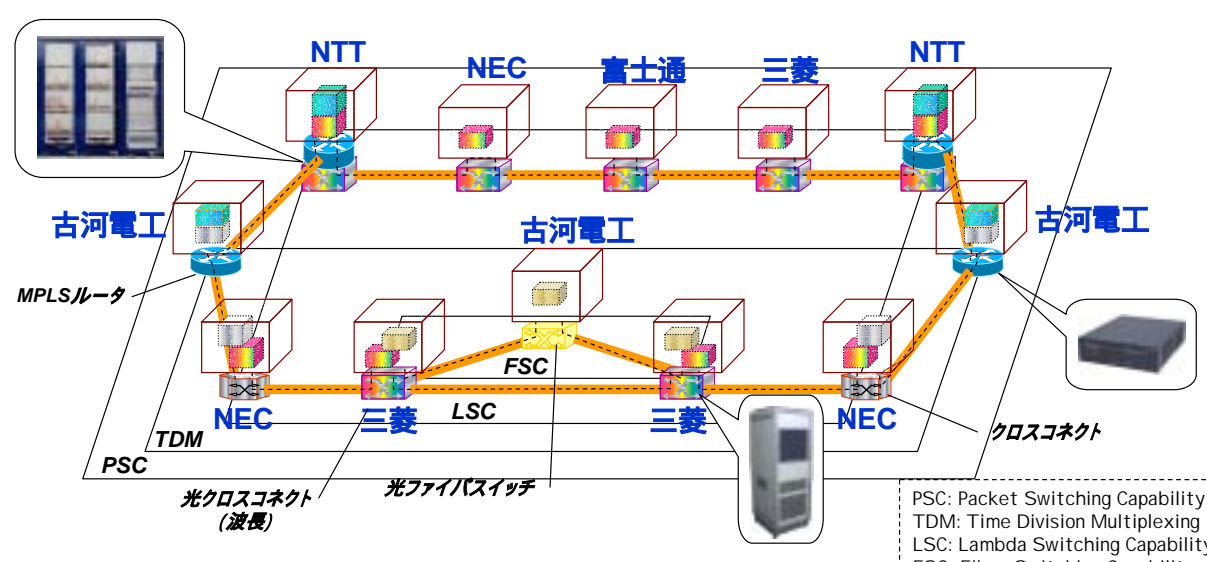
技術項目

- 全光網制御 (RWA, Impairment制御)
- マルチリージョン制御
- 障害回復
- 制御網構成法
- リンク管理 (LMP)
- ルーティング (OSPF拡張)
- シグナリング (RSVP-TE拡張)

PIL参加メンバによるGMPLSシグナリング技術検証実験系



- GMPLSシグナリングのメリット
 - 異なるレイヤのパス設定制御が、統一されたプロトコルで制御可能
 - 光パスをMPLSライクにパス設定が可能
 - 複数のレイヤの協調動作によりNWリソースをより有効に利用可能



PSC: Packet Switching Capability
 TDM: Time Division Multiplexing
 LSC: Lambda Switching Capability
 FSC: Fiber Switching Capability

PIL 参加メンバによる GMPLS シグナリング技術検証 (PIL)

